

「永瀬清子の里」地図

①永瀬清子展示室

【詩碑】

- ②詩碑「いのり」（赤磐市くまやまふれあいセンター前）
- ③詩碑「熊山橋を渡る」（制作 白石齊 書 額田桂崖）
- ④石のモニュメント（制作 白石齊 書 額田桂崖）

【ゆかりの場所】

- ⑤永瀬清子生家「清子の家」（国登録文化財）
- ⑥伝和気清麻呂公墓所（市指定文化財）
- ⑦松木公会堂（＝現 松木公民館）

【作品に登場する山】

- ⑧新田山（しんでんやま）
- ⑨大盛山（おおもりやま・おおもりあげ）
- ⑩熊山

【校歌を作詞した熊山地域の学校】

- ⑪小野田小学校
（＝廃校・現 熊山英国庭園 ※校歌碑あり）
- ⑫赤磐市立豊田小学校
- ⑬赤磐市立磐梨小学校
- ⑭赤磐市立磐梨中学校

【その他】

- ⑮詩の看板（JR熊山駅前ロータリー）
- ⑯「永瀬清子の里」案内板（熊山工業団地入口）
- ⑰詩の庭（熊山英国庭園内 体験棟横）
（清子の作品に登場する植物を植えています）

【凡例】

- … 記念碑
- ★ … 小中学校
- … 建物
- ▲ … 山
- … ゆかりの場所等
- 〇 … 支所
- Y … 消防署
- X … 駐在所
- 〒 … 郵便局

あたらしい熊山橋は
茫と白く宙にうかんで
空は星にあふれてある
西の天幕にはまだ猫眼石
フットライトのやうに
かなたの半球のあかる
みを投げあげてゐる

（「熊山橋を渡る」一九四八年一月十四日）
昭森社版『永瀬清子詩集』より）

子ども
のびゆも
かやく木
の芽その
まほまの
こよなき
なみのが
母等の日
のきよき
きよき
ゆたかな
母等の日
のきよき
きよき
ゆたかな
母等の日
のきよき
きよき
ゆたかな

（くまやまふれあいセンター前 永瀬清子詩碑
「いのり」碑全文）

①永瀬清子展示室

赤磐市くまやまふれあいセンター2階
〒709-0705 岡山県赤磐市松木621-1
Tel.(086)995-1360

開室時間 午前9時～午後5時
休館日 毎週月曜日・12月28日～1月4日
入館料 無料



その家を私は好きだった
まわりの見も知らなかった
私と子供たちをかばってくれた
汗はそれだけの甲斐があった
畑に蒔いたちやも瓜もみんなの
身になった
畦には豆もみのった

（「その家を好きだった」『あけがたにくる人』より）

母の家の東側、私の家のはすむかに
いに苦むした古い塚があり、それは
和気の清麻呂の墓と云い伝えている。
清麻呂の館は松木部落を負うた山
の斜面にあつたのだと云い、よく横
穴や勾玉なども掘りだされる。こゝ
は古い山陽道の馬つぎ場所。「まつ
き」と云う名もそれを示している。
私の名前は「清」と名づけられた。
因んで「清」と名づけられた。

（「思い出す日々」梅咲く頃に生れて）
『女の新聞』六八号 一九六四年二月より）

当時の松木公会堂は、
建て替えられ、名前も
松木公民館に変わっ
ています。ただし、清
子が詩に書いた頃と
同じ場所にありま
す。

公会堂が出来たら
よい事を話さあは
よい事を考えあは
羊歯や笹やつじの
山から伐り出され
いたまを創るため
美しい国を戦うた
曳きだされてくる
あたらしいいい句
の松の木。

（「松」『美しき国』より）

吉井川
古くはあたらしい
その奔るさもその
私自身のつめたい
私の奥にお前が
お前の中に私は
とける

（「吉井川によせて」
『春になればつぐいすと同じ』より）

はなれの窓からは
新田山が おだやか
に横たわっていた
その上にすれすれ
ぴったりさそり座
まるで巨きな東の
或いは横Sの字に
その星座が その
見守っていたのだ

（「アンタレスとそり座への願ひ」
『春になればつぐいすと同じ』より）

作品の引用にあたっては、
発表当時の社会的状況・時
代背景・文学的価値などを
考慮し、そのまま引用して
います。

⑪小野田小学校
（＝廃校・現 熊山英国庭園）

⑰詩の庭

258

403

新下市

可美川

⑭磐梨中学校

⑬磐梨小学校

⑦松木公会堂
（＝現 松木公民館）

⑥伝和気清麻呂公墓所

⑤永瀬清子生家
「清子の家」

熊山浄化センター

熊山支所
熊山総合センター
（ほほえみ）

熊山診療所

①永瀬清子展示室
くまやまふれあいセンター

②詩碑「いのり」
移設予定

⑫豊田小学校

松木

③詩碑
「熊山橋を渡る」

⑯「永瀬清子の里」
案内板

④石のモニュメント

熊山工業団地

さくら公園

⑮詩の看板
詩「吉井川によせて」
詩「熊山橋」

⑩熊山

JR山陽本線

瀬戸橋

山陽自動車道

道々山

⑨大盛山